

こんにちは！ 日本共産党の **好きです！憲法9条**

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2014年6月20日 No.249

〒319-1112

東海村村松2401-2

toukai@oona-mieko.info

電話・ファクス 029-284-0761

浜通り医療生協 小名浜生協病院の
ガンマ線ポータルモニタFTF検査を受けてみました



FTF(ファースト・トラック・ファイバー)による 放射性物質の検出



6月7日、東海村母親大会が開かれ、福島第一原発事故後の浜通り医療生協の取り組みのお話がありました。その後、実際に参加者がFTF搭載車で検査を受けました。

はじめに、原発の事故後、正しい情報が知らされず、放射性物質の飛散と同じ方向に子どもを避難させてしまった悔しさなど、事故直後の様子と、福島に住み続けたいという住民の声を受けとめ、空間線量測定や汚染マップの作成、食品放射線測定器の導入と活用などの活動についてお話を伺いました。

FTFは、体内および体の外に付着している放射性物質が出す放射線量（ガンマ線）

を測定する機器です。この放射線量測定を通じて、放射線による被ばくの不安を抱える人に被ばく状況を知らせ、日常生活の中に被ばくを減らす工夫が生まれるようサポートをしているとのこと。

その1つがFTF搭載車で放射線量の測定です。私も測っていただきましたが、全身0で、評価は、no contaminationでした。

奥のカーテンの向こう側で測定します。立っているだけで測れます⇒



議会原特委

東海第二の適合性審査申請の説明を聞く

説明後の質疑で、私は、①新基準対応としてとる対策の総費用と工期、総費用から見る経済的効率 ②東海村以外の住民・議会への説明もする考えか ③本社を訪ねたとき総務室長が、「避難計画ができなければ再稼働はしないということになると言ったが、第二発電所も同じ考えか ④審査申請と再稼働は直結しないとチラシで繰り返し公表しているが、再稼働しないということなのか 4点について質問しました。

原電の回答は、①総費用は、780億円をみている。工期末は、平成28年6月を予定。対策をとることを重視していてそれ以外は考えられない ②まずは村内。隣接自治体住民については、相談させていただく。UPZ(30キロ圏内)自治体議長にも相談中 ③発電所も本社総務室長と同じ考え。避難計画は重要と考えている ④避難計画の策定など、順番をきちんと踏んでいく。再稼働を考える時期ではない ということでした。